

氷見市長

本川 祐治郎 殿

要 望 書

平成 27 年 5 月

白 川 地 区

宇 波 地 区

脇 方 地 区

戸 津 宮 地 区



仲直池修繕工事について

日頃当地区に対し、ご配慮を頂き感謝を申し上げます。

本川市長になり市民との対話集会を開催され、宇波公民館での対話集会で白川地区の仲直池修理を要望致しました。

この池は、平成26年に林道氷北線が開通したときの、開通式会場より東に300m下付近にあります。

明治時代、食糧増産政策により仲直池が作られました。この時代、雨具や長靴もない時、先人の人々が奥入った村の上流に人工の池を作ったものです。池の土手にはどこから運んだものか、御影石を1m以上積上げて有り、このようなかさ上げをした池は県内ではないと云うことです。

平成25年度には、国・県が危険なため池調査を終えました。村では年2回、土手の草刈りを行っています。平成22年では下流に高岡農林振興センターが防災ダムを作りました。現在、池には八割の貯水が有ります。最近の大雨による災害が各地で発生しているのを見ると、下流集落 白川・宇波・脇方の地区に被害が起きないかと不安です。

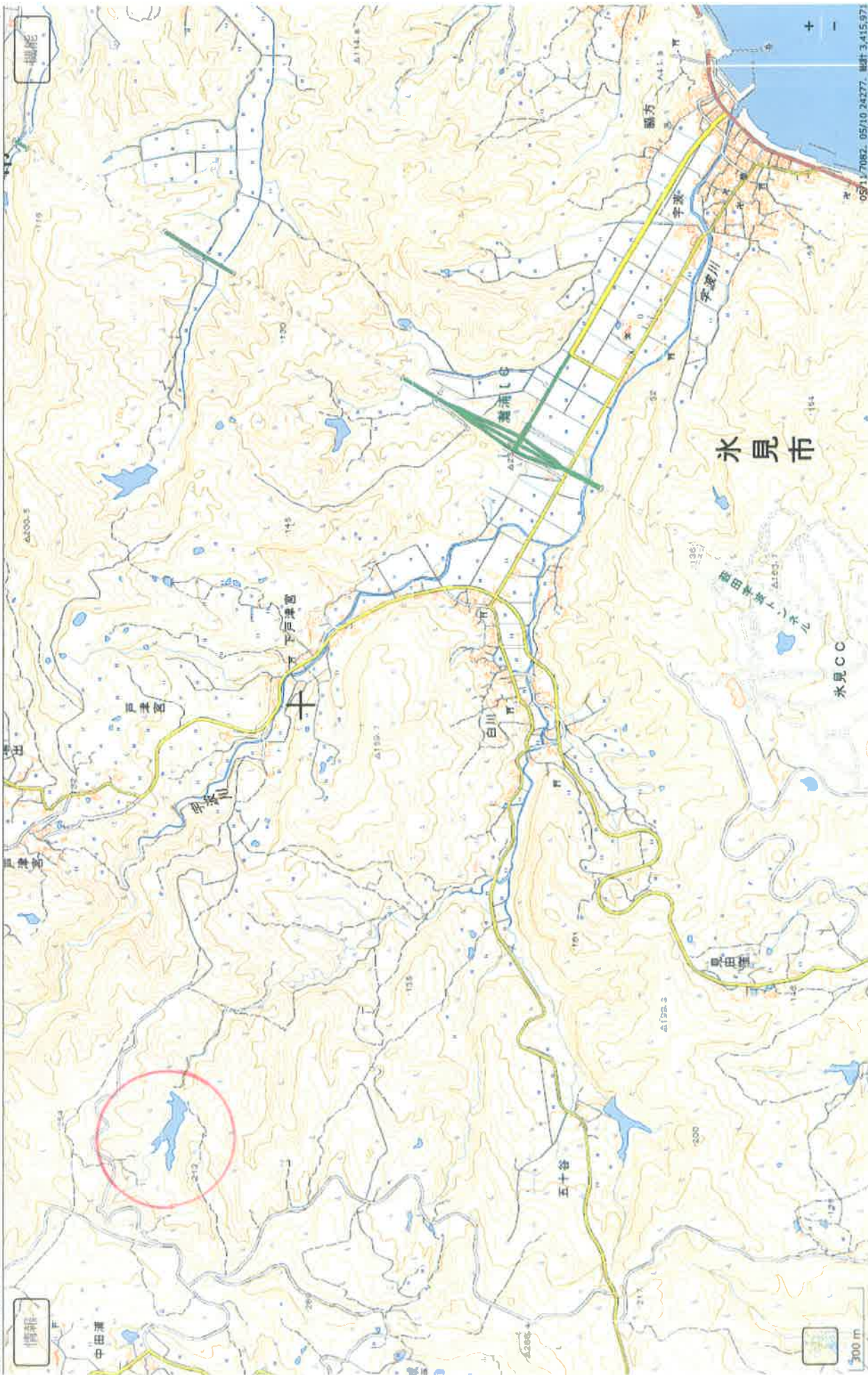
平成26年度 国・県で池の補修が進められているとの事、氷見

市では農業用水は小矢部市より水を引いて居り、北の方は北八代まで供用されています。当時、宇波地区は宇波川の上流に八代仙ダムを計画しましたが、昭和の終り頃に中止になり、白川宇波地区耕作田約30haは、毎年夏には水不足になり苦勞をしています。

水不足を解消し美田を守るため、また防災上においても住民が安心して暮らせませう様、仲直池修理をお願い申し上げます。

例：鋸岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒 / 35.00 135.00 / 54SUE83694920

地理院地図
©国土地理院



OS117082L 05/10 24377 縮尺 3.415.971

白川区長

日詰

聰



宇波区長

荻野

信悟



脇方区長

室谷

裕行



戸津宮区長

関

一朗

